

増加する不登校児童の初期対応のため スクールソーシャルワーカーのさらなる活用を



西東京市議会公明党 八矢 好美

問 不登校児童の現在の状況、今後の市の方向性について伺う。

答 増加傾向にある。スクールソーシャルワーカーのさらなる活用など、一層の支援の充実を図る。

問 「さらなる活用」とは。

答 初期対応を適切に行うために、学校をより福祉的な視点で支援する。
意見 1人のスクールソーシャルワーカーが100人以上を受け持ちながら、家庭訪問することが既に難しい状況。初期段階から丁寧に対応ができる体制をつくっていただきたい。

問 御高齢の方から、最期をどのように過ごしたらよいか、不安に感じるとのお声をいただく。看取り支援の今後の方向性について伺う。

答 市内の特別養護老人ホームでは、ほぼ全ての施設で看取りを行う体制ができています。市民の皆様や専門職

に対し、より一層の周知啓発を図る。
意見 令和3年度は施設の看取り介護加算の見直しがあり、大きく進める要因になった。しかし、在宅での看取りは、担当するケアマネジャーが不足している。課題解決に向けて議論を深めて、国や都への要望も含め、地域包括ケアシステムのビジョンを具体的に示していただきたい。



物価高騰へのきめ細かな対策を！ 市南部地域のまちづくりを推進！



西東京市議会公明党 大林 光昭

問 新型コロナが5類感染症になり、国は内閣感染症危機管理統括庁を発足させるとしている。本市における再拡大等への対応方針は。

答 危機管理対策会議で国・都や庁内の情報共有を図りつつ、速やかに対応する。

問 物価高騰の影響は全世代の市民や広範な事業者に及ぶため、きめ細かな支援策を具体的に提案してきた。対策を問う。

答 子どもから高齢者まで幅広い世代の生活を下支えするため、補正予算を編成して本市独自の大規模な物価高騰対策を実施する。

問 田無駅南口駅前広場と街路整備について、今後の取組は。

答 用地取得予定のうち約70%が契約に至り、今年度は2件の契約を予定。令和9年度までの整備を目指す。

街路部分の事業及び測量説明会を7月に予定している。

問 児童館の今年度の取組は。

答 今後、南部地域における中高生向け特化型児童館の整備に向けた検討を行う。

自転車用ヘルメット購入費用助成

意見 申請受付再開が十分に伝わっていない。広報や事業周知の在り方を検討すべき。



さらなるペットボトル削減のため アプリの活用と給水スポットの設置を！



西東京市議会公明党 佐藤 公男

問 ゼロカーボンシティ宣言をしている本市として、さらなるペットボトル削減が必要。マイボトル運動により、公共施設等に給水スポットの設置を求める。市の見解は。

答 庁内でマイボトルの推奨や、企業との協定によりプラスチックの削減に努めている。

意見 「mymizu」等のアプリの活用により、楽しみながらペットボトルの削減できる取組が重要。

バイオマスプラスチックごみ袋導入

問 SDGs推進のためバイオマスプラスチック製ごみ袋の導入を環境基本計画へ位置づけるよう求める。

答 計画への位置づけについて、環境審議会でご議論いただいている。

子どもの文化芸術団体への助成を

問 文化芸術活動を行っている子どもたちの団体に対する助成制度創設

を改めて求める。

答 他自治体や庁内の類似制度を踏まえ検討する。

防災行政無線戸別受信機の改善策

問 聞こえにくい防災行政無線の戸別受信機におけるFM西東京の電波の活用に向けた検討状況は。

答 現在、FM西東京と運用方法を調整している。

意見 訓練放送も入るようにすべき。



一般質問の要旨

第2回定例会で27人の議員が行った主な内容についてお知らせします。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

質問の全文は会議録に掲載します。会議録の公開予定等は8面をご覧ください。

一般質問とは、議員個人が市政全般について市長や教育委員会などに質問することです。

西東京市議会では、答弁時間を含めて1人当たり50分の持ち時間で行っています。



本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。

※公開期間は、定例会分については、次の定例会の初日の録画中継が公開されるまで、臨時会分については、公開の日から3か月間です。

全世代の方々が安心して暮らせるまちづくり 一人に寄り添う支援の充実を



西東京市議会公明党 田代 伸之

問 市内北部地域に地域子育て支援センターの設置を。

答 行政サービスにおけるエリア(圏域)再構築に合わせて中学校区での確保を基本とし、拡充を図る。

問 ヤングケアラー支援の充実を図るため、ヤングケアラー・コーディネーターの配置を検討すべき。また、学校現場での理解啓発が重要と考える。教育委員会の取組を問う。

答 複数の支援機関の連携が重要。ネットワーク体制の充実に努める。児童生徒に適切に対応するため、各校で教職員対象の研修を実施する。

問 心の健康対策として、「心のサポーター養成事業」を実施し、地域で支えあう体制づくりを。

答 先進事例を検証し検討する。

問 特別支援学校高等部卒業後の方への夕方までの居場所の確保を求め

てきた。検討状況を問う。

答 制度の見直しを関係機関に働きかけるとともに、当事者、御家族の御意見、事業所の意向や課題等を整理し、計画策定の中で検討をする。

問 不登校児童生徒の保護者の孤立を防ぐため、保護者間の関係づくりの場を作るべきと考える。見解は。

答 保護者の方々のニーズや先行自治体の取組等、調査研究する。



西東京市ヤングケアラーリーフレット

公営学童に宅配弁当を導入し親の負担軽減を 国史跡下野谷遺跡にガイダンス施設の設置を



西東京市議会公明党 藤田 美智子

問 フルタイムで働く子育て世帯の朝は超多忙。民営学童では宅配弁当があるが公営にはない。サービスに差がある。早期に改善を求む。

答 公営学童クラブにおける宅配弁当の導入に向けた仕組みづくりを検討する。

問 子育て世帯の負担軽減のため、保育園の昼寝用寝具の改善を求めてきた。進捗状況を問う。

答 衛生・安全面を重視した寝具リースを選定。7月1日より実施予定。

問 コロナワクチンの健康被害救済制度につないだ発生件数を問う。

答 5月28日までに62万9,000回接種され、健康被害の申請は、*即時型アレルギー2件を含み15件。

問 ワクチン接種の効果を問う。

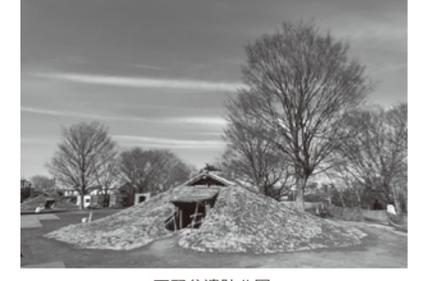
答 国内で3億8,900万回接種された。厚生科学審議会でも有効性が評価

され、ワクチン接種の推進及び自然感染により、各年代において免疫保持者の割合が増えたとされている。

問 下野谷遺跡発掘開始から50年の節目に、竪穴式住居と土器だまりの復元が完成。遺跡の魅力を広げるガイダンス施設の進捗状況を問う。

答 国史跡内に新たな建築は認められないとの見解を得ている。

意見 既存公共施設の併用検討を。



下野谷遺跡公園

*心のサポーター養成事業 厚生労働省が進める「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向け、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、地域住民に対する初期対応法を広く普及するための事業。

*即時型アレルギー アレルゲンが体内に入った直後から数時間以内という短い時間で症状が出るアレルギー反応。